

第1章

健康すもと21（第2次）の動向

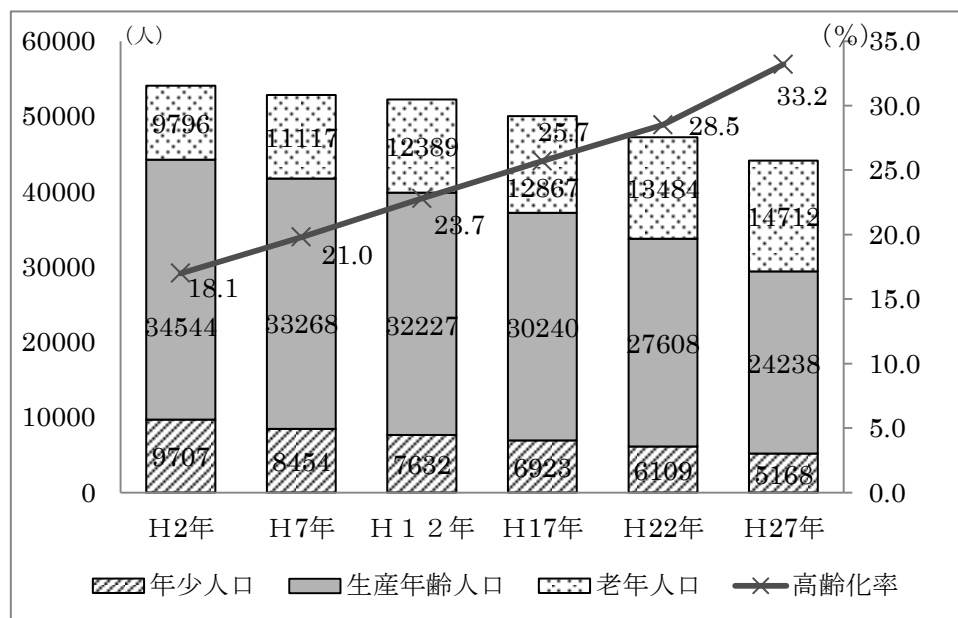
I 洲本市の概況

(1) 人口・世帯の推移

① 人口

本市の人口は減少傾向で推移しており、平成27年時点で44,258人（年齢不詳を含む）となっています。その中で、高齢者人口は増加しており、平成27年時点で14,712人（高齢化率33.2%）となっています。

図表1 人口と高齢化率の推移

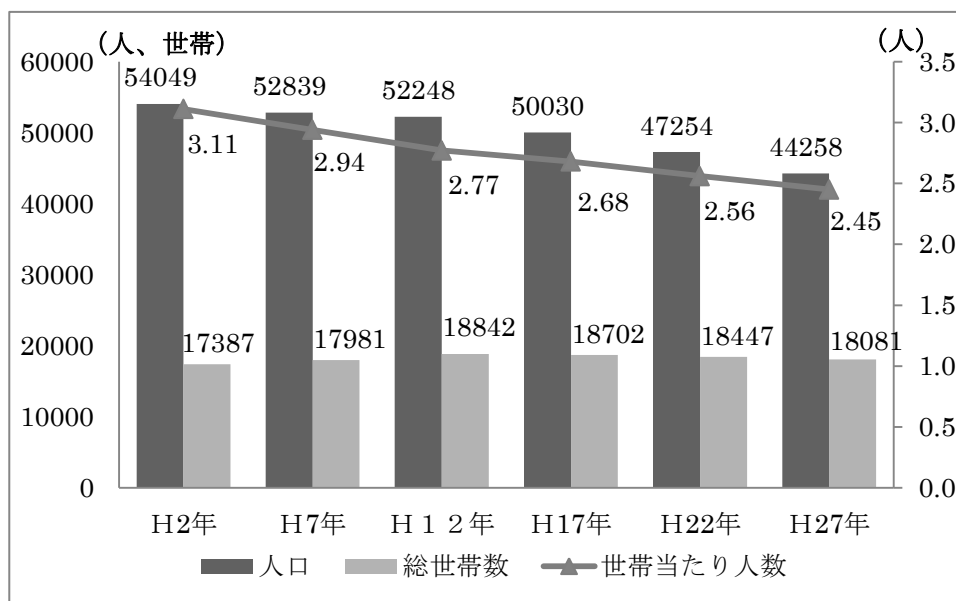


資料：国勢調査より
※旧五色町を含む値

② 世帯

総世帯数は、平成12年以降減少傾向に転じており、平成27年時点で18,081世帯となっています。人口の減少に伴い、世帯当たりの人員は減少しており、平成27年時点では2.45人となっています。

図表2 総世帯数の推移



資料：国勢調査より

③ 人口動態

出生数、転入数に対し、死亡超過・転出超過の状態が続いており、人口は年々減少しています。

図表3 人口動態の推移

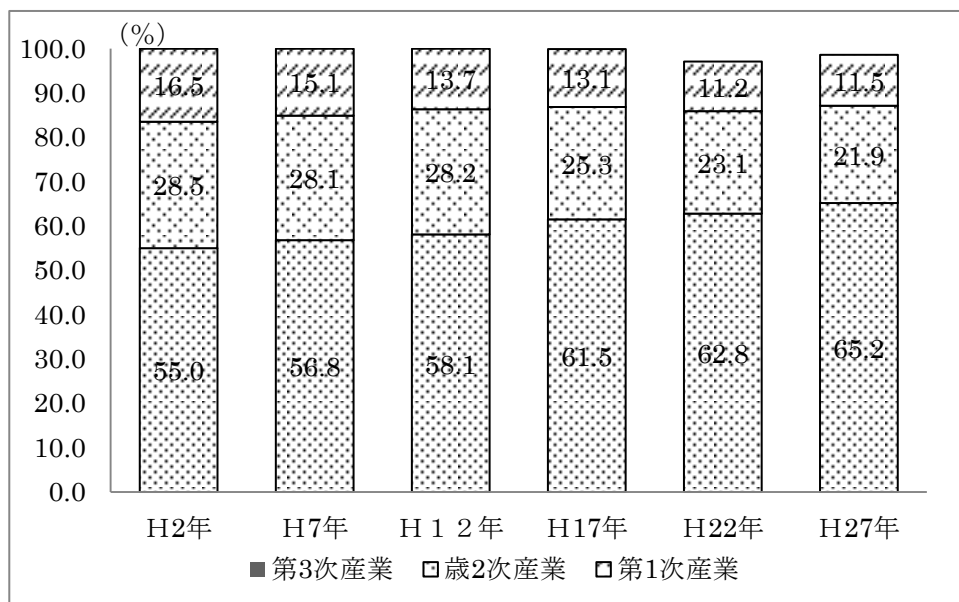
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
自然増減	▲ 261	▲ 239	▲ 232	▲ 257	▲ 305	▲ 309	▲ 343	▲ 322	▲ 416	▲ 346
出生	384	367	354	383	350	310	285	303	273	312
死亡	645	606	586	640	655	619	628	625	689	658
社会増減	▲ 433	▲ 371	▲ 241	▲ 282	▲ 380	▲ 253	▲ 344	▲ 185	▲ 198	▲ 194
転入	1,331	1,320	1,404	1,362	1,181	1,359	1,446	1,471	1,455	1,503
転出	1,764	1,691	1,645	1,644	1,561	1,612	1,790	1,656	1,653	1,697
純増減	▲ 694	▲ 610	▲ 473	▲ 539	▲ 685	▲ 562	▲ 687	▲ 507	▲ 614	▲ 540

資料：県統計課「兵庫県人口の動き」（各年1月～12月）より

④ 産業別就業者

第3次産業就業者は年々増加傾向にあり、平成27年時点で65.2%を占めています。

図表4 産業別就業者人口構成の推移



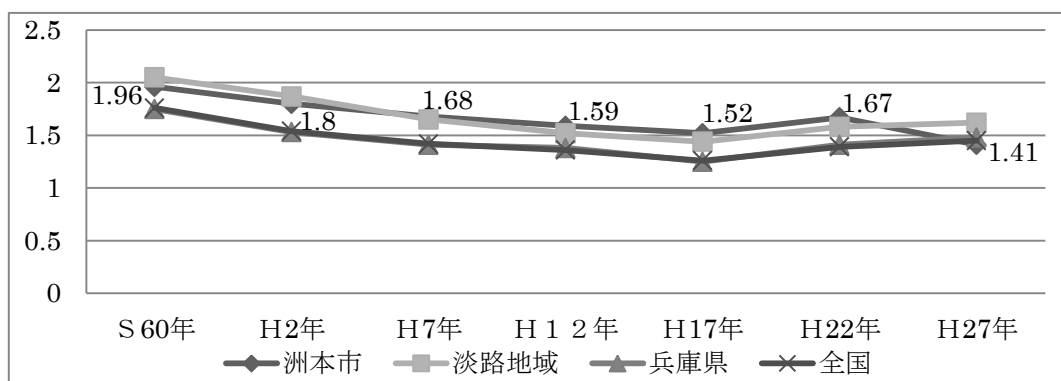
資料：国勢調査より

（2） 出生・死亡の動向

① 合計特殊出生率

合計特殊出生率は平成17年まで減少し、平成22年には増加しましたが、平成27年にはまた減少し1.41となっています。また、洲本市の合計特殊出生率は淡路地域全体や県と比べて低い水準にあります。

図表5 合計特殊出生率の推移

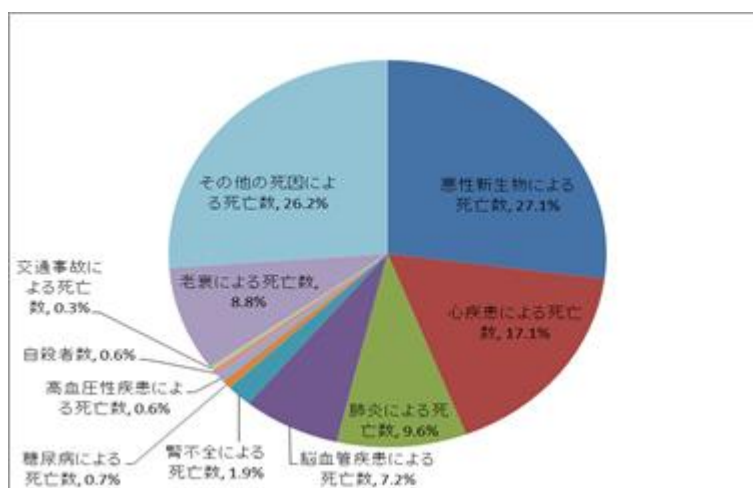


資料：国勢調査より

② 死因別死亡者数

悪性新生物による死亡が27.1%と最も高い割合を占めており、心疾患・脳血管疾患・糖尿病・高血圧のがん以外の生活習慣病による死亡が27.5%となっています。

図表6 死因別死亡者数（平成27年）



	死亡者総数	悪性新生物による死亡者数	心疾患による死亡者数	脳血管疾患による死亡者数	腎不全による死亡者数	糖尿病による死亡者数	高血圧性疾患による死亡者数	肺炎による死亡者数	交通事故による死亡者数	自殺者数	その他の死因による死亡者数	新生児死亡数(再掲)
洲本市	691	187	118	50	13	5	4	66	2	4	181	-
淡路地域	2,141	565	237	153	44	16	11	237	13	27	564	-
兵庫県	55,391	16,421	8,198	4,586	1091	620	275	4,964	239	963	14,519	74

資料：兵庫県保健統計年報より

③ 標準化死亡比

男性では、がんの中では肺がん、動脈硬化に関係するものでは高血圧が高く、女性では、膵がん・心不全が県と比べて高くなっています。

図表7 標準化死亡比（SMR）の状況（平成23-27年） ※全国=100

【男性】

	全死因	悪性新生物	食道がん	胃がん	結腸がん	直腸がん	大腸がん	肝がん	膵がん	肺がん	前立腺がん
洲本市	100.6	102.6	128.6	109	99.8	102.5	100.8	72.5	64.4	129.7	76.8
淡路圏域	101.8	102.1	109.3	109	88.1	100.3	92.5	75	85.8	123.5	85.1
兵庫県	99.4	103.9	103.8	104.6	98.1	99.4	98.6	120.3	101.5	106	90.9

	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	急性心筋梗塞	その他の虚血性心疾患	心不全	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞
洲本市	63.7	133	103.7	76.9	67.5	136	88.1	107.9	66.6	88
淡路圏域	88.9	117.7	104.1	124.3	79	123.9	89.2	122.1	60.6	96.3
兵庫県	103.4	95.7	95.3	116.6	80.9	105.6	93	111.8	91.2	89.9

	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	交通事故	自殺
洲本市	99.4	91.4	94.6	125.6	108.2	158.1	86.1
淡路圏域	106.5	115.3	84.1	87.7	146.3	187.1	115.1
兵庫県	95.7	104.7	98.5	94.8	97	101.8	98.6

資料：兵庫県立健康生活科学研究所健康科学研究センターより

【女性】

	全死因	悪性新生物	食道がん	胃がん	結腸がん	直腸がん	大腸がん	肝がん	膵がん	肺がん	乳がん	子宮がん
洲本市	107.1	103.3	138.5	89.8	87.3	111.4	93.1	97.5	121.7	106.6	86.3	112.2
淡路圏域	100.5	94.6	107.1	96.7	92.4	88.2	91.4	83.5	102.7	97.4	80.2	85.4
兵庫県	100.4	101.7	109.8	102.6	99	103.1	100.1	122.4	101	103.8	94.4	95.5

	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	急性心筋梗塞	その他の虚血性心疾患	心不全	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞
洲本市	87.2	80.5	118.3	95.7	70.9	155.3	87.1	108.1	66.1	86.2
淡路圏域	100.1	99	115.9	121.5	77.4	143.3	83.3	96.6	75.9	81.3
兵庫県	104.8	105.9	100.1	118.9	79.5	107.8	90.6	92.3	91.1	89.3

	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	交通事故	自殺
洲本市	129.8	115.8	76.5	119	98.1	94.7	66.2
淡路圏域	123.3	112	94.1	86.8	121.7	202.3	99.3
兵庫県	99	104.8	107.5	99.3	95.9	95	105

資料：兵庫県立健康生活科学研究所健康科学研究センターより

II 健康を取り巻く状況

(1) 疾病や医療の状況

① 国民健康保険の状況

国民健康保険の一人当たりの診療費は増加傾向にあり、平成27年では21,839円となっています。また、受診率は、平成27年にかけて増加しており、93.96%となっています。

図表8 一人当たりの診療費（総数）の推移（各年5月診療分）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
洲本市	20,938	20,769	23,518	21,839
淡路圏域	20,868	20,408	22,643	22,850
兵庫県	21,966	22,063	22,218	22,031

資料：兵庫県国保連合会より

図表9 受診率（総数）の推移（各年5月診療分）

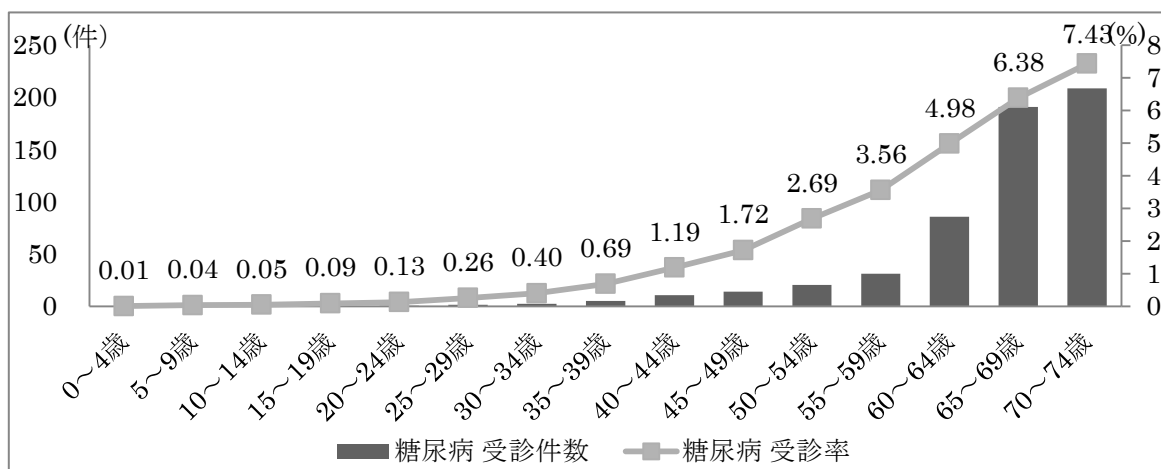
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
洲本市	90.74	90.50	92.16	93.96
淡路圏域	87.25	88.24	88.86	90.44
兵庫県	89.32	90.39	90.10	89.78

資料：兵庫県国保連合会より

② 疾病別受診件数（平成27年5月診療分）

糖尿病や高血圧性疾患は65歳を境に受診件数、受診率*が高くなっています。一方で統合失調症は、30～50歳代の受診件数、受診率が比較的高くなっています。

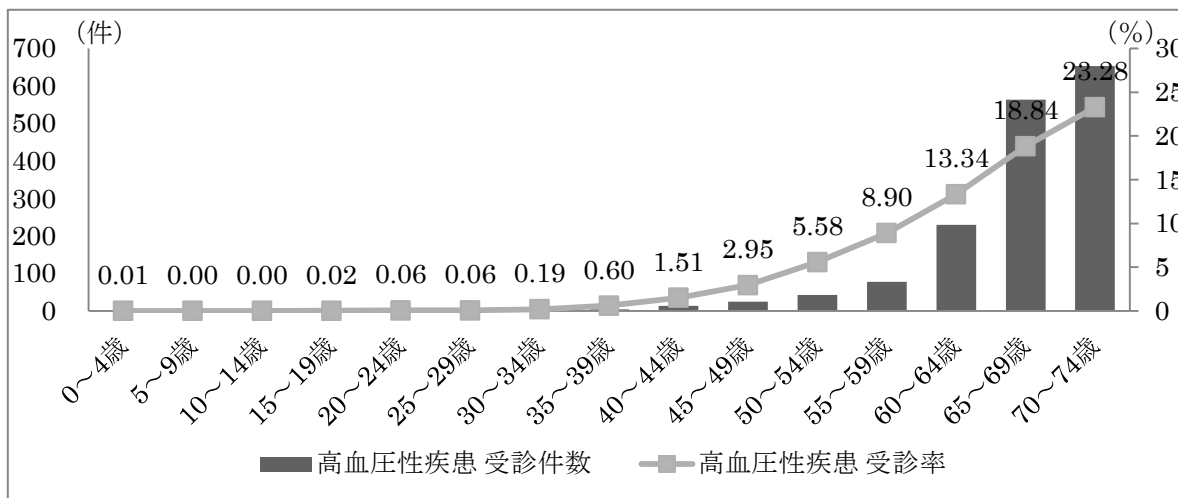
図表10 糖尿病の年齢別受診件数



資料：兵庫県国保連合会より

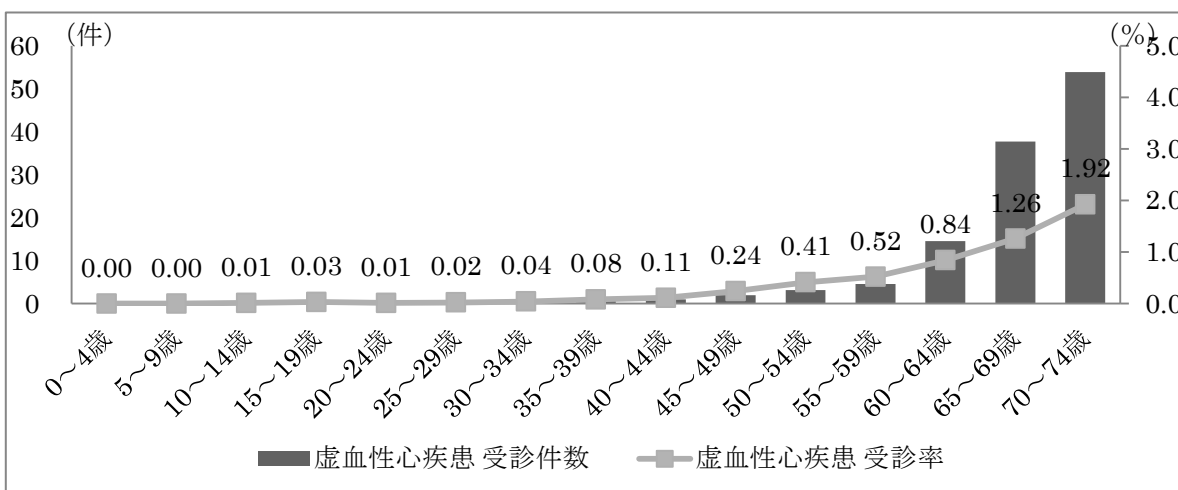
※受診率：公的医療保険の被保険者数に占める医療機関を受診している患者数の割合のこと。現在は医療費の増加に関わる指標として用いられることもある。

図表11 高血圧性疾患の年齢別受診件数



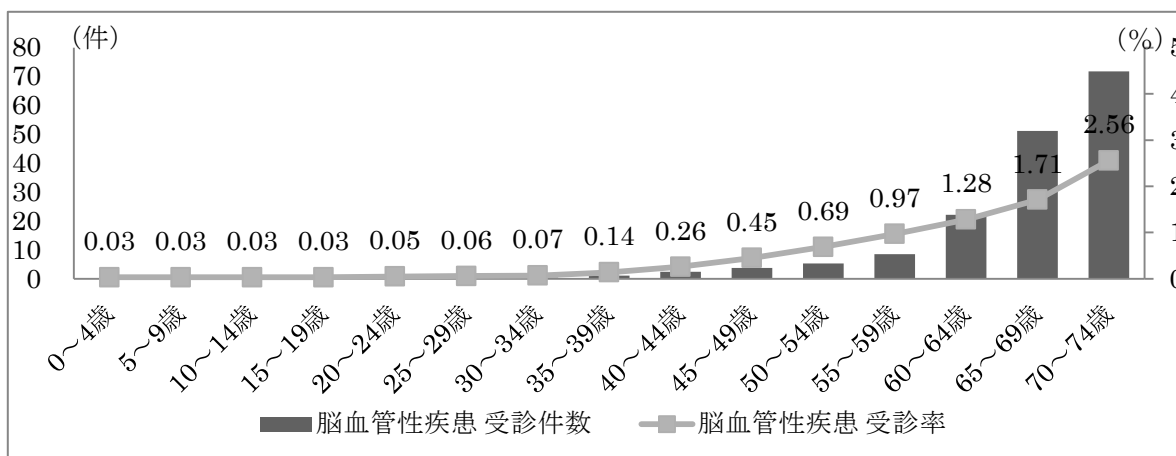
資料：兵庫県国保連合会より

図表12 虚血性心疾患の年齢別受診件数



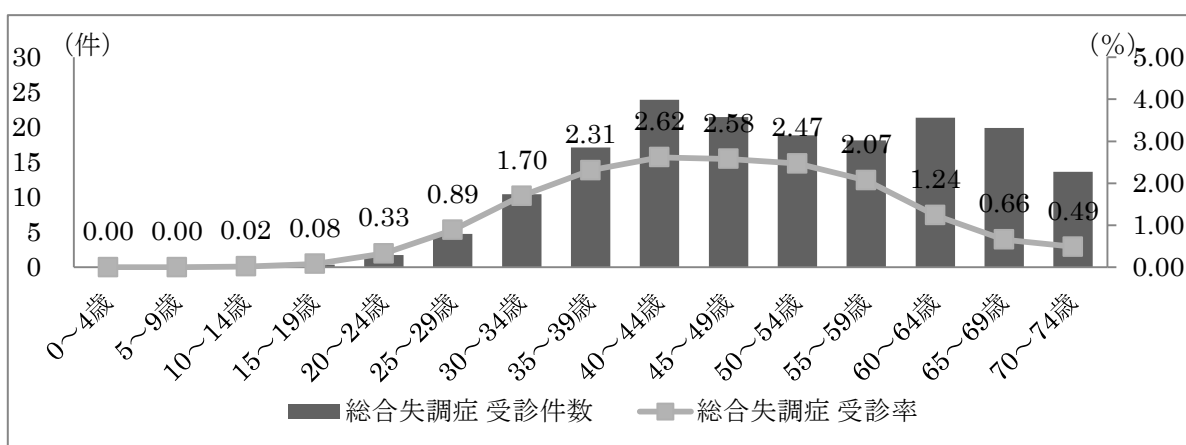
資料：兵庫県国保連合会より

図表13 脳血管性疾患の年齢別受診件数



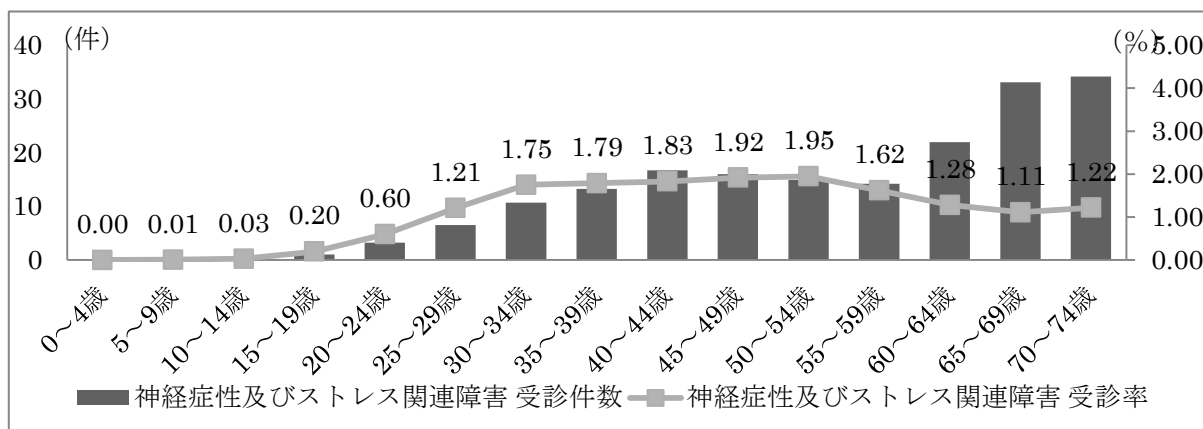
資料：兵庫県国保連合会より

図表14 統合失調症の年齢別受診件数



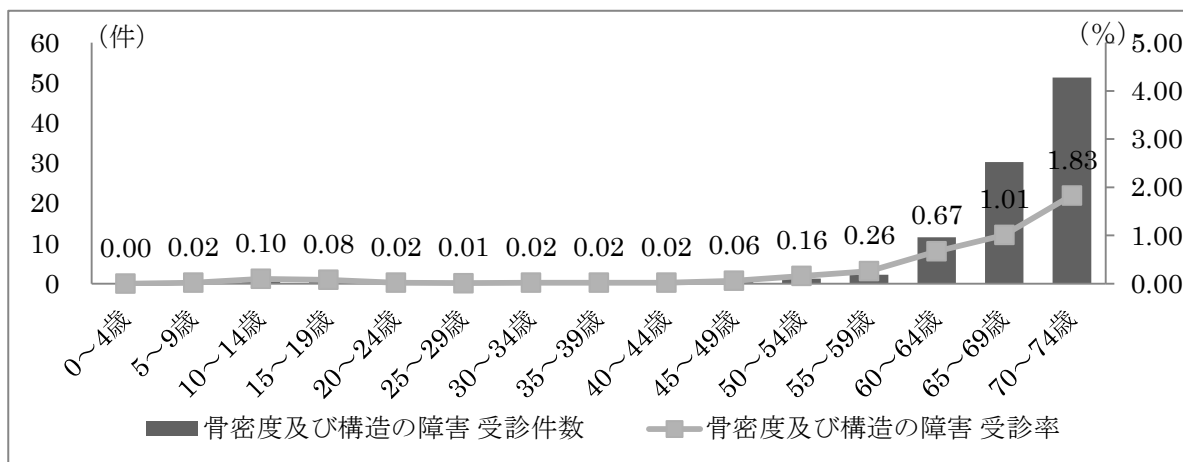
資料：兵庫県国保連合会より

図表15 神経症性及びストレス関連障害の年齢別受診件数



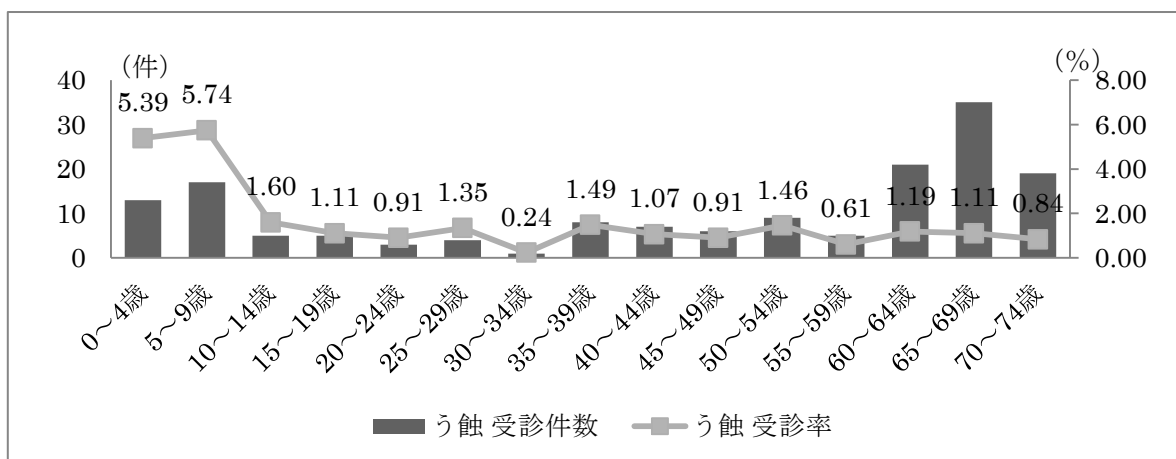
資料：兵庫県国保連合会より

図表16 骨密度及び構造の障害の年齢別受診件数



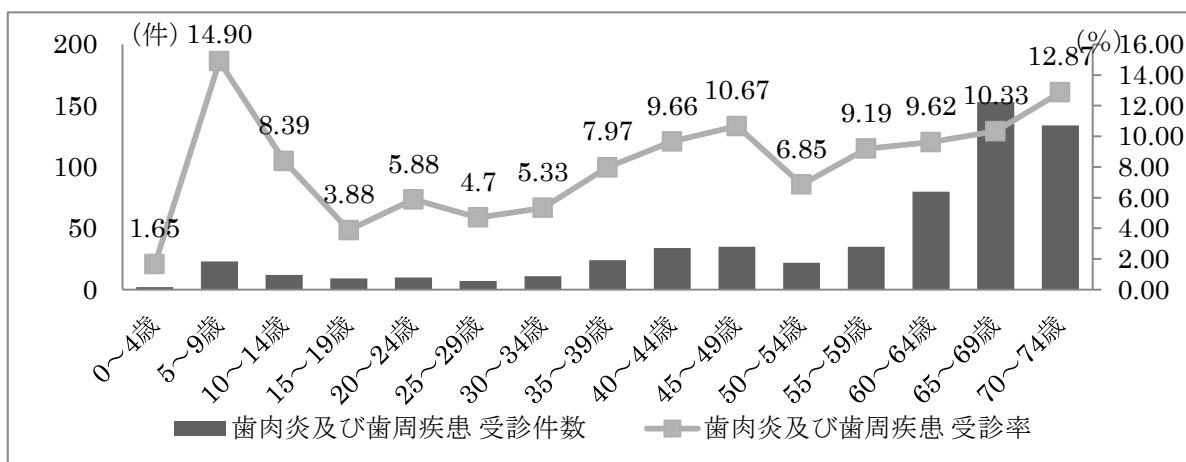
資料：兵庫県国保連合会より

図表17 う蝕の年齢別受診件数



資料：兵庫県国保連合会より

図表18 歯肉炎及び歯周疾患の年齢別受診件数



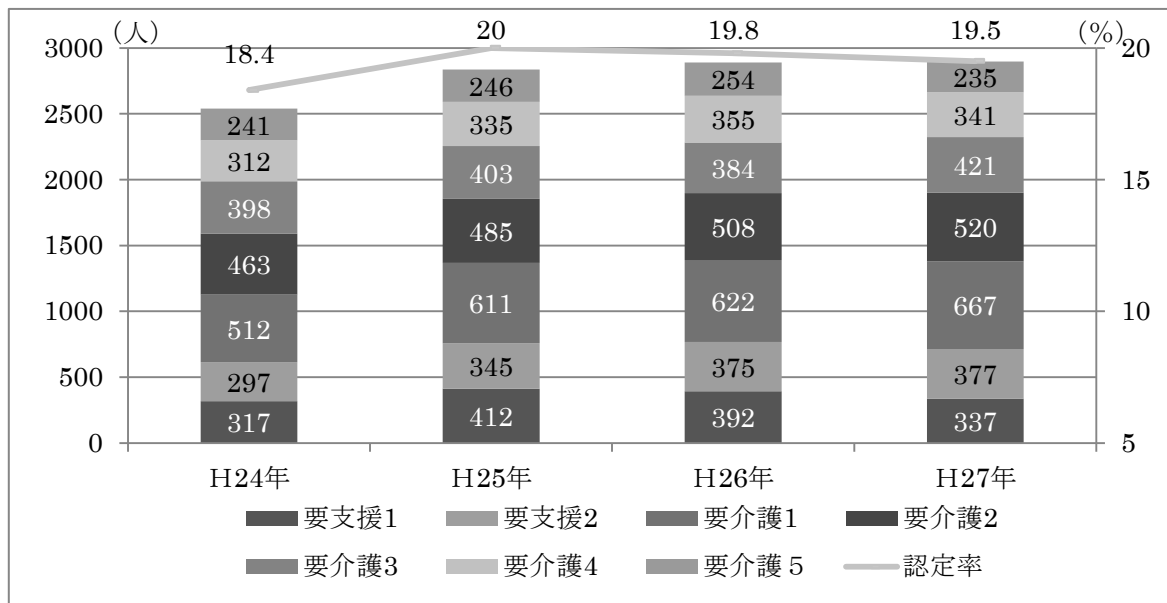
資料：兵庫県国保連合会より

（2） 高齢者の健康

① 要介護認定者（第1号被保険者のみ）

高齢化にともない、要介護認定者は増加傾向にあり、平成27年度では2,898人、認定率は19.5%となっています。特に、要支援1～要介護1の軽度認定者の割合が増加しています。

図表 19 要介護認定者数の推移



資料：介護福祉課より

図表 20 平成27年度要介護認定者数（全国、兵庫県との比較）

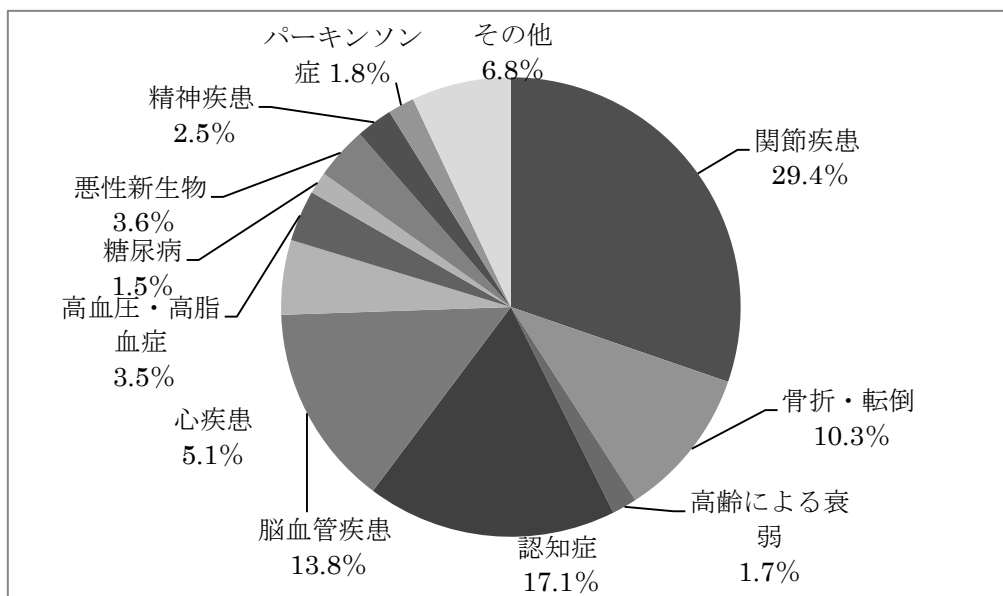
	第1号被保険者	要介護認定者数									認定率 (%)
		要支援1	要支援2	経過的介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	
全国	29,771,235	677,331	687,798	0	939,658	913,146	698,062	646,121	584,959	5,147,075	17.3
兵庫県	1,309,286	43,033	37,348	0	41,188	37,396	29,397	26,417	24,038	238,817	18.2
洲本市	13,729	324	295	0	508	466	395	302	242	2,532	18.4

資料：厚生労働省（介護保険事業報告調査：結果の概要）より
注）全国・兵庫県については見込値

③ 要介護認定原因疾患

平成26年度の要介護認定（軽度）の原因疾患は、関節疾患、認知症が多く、全体の46.5%を占めています。次いで、脳血管疾患、骨折・転倒の割合が高くなっています。

図表21 平成26年度 高齢者要介護認定原因疾患



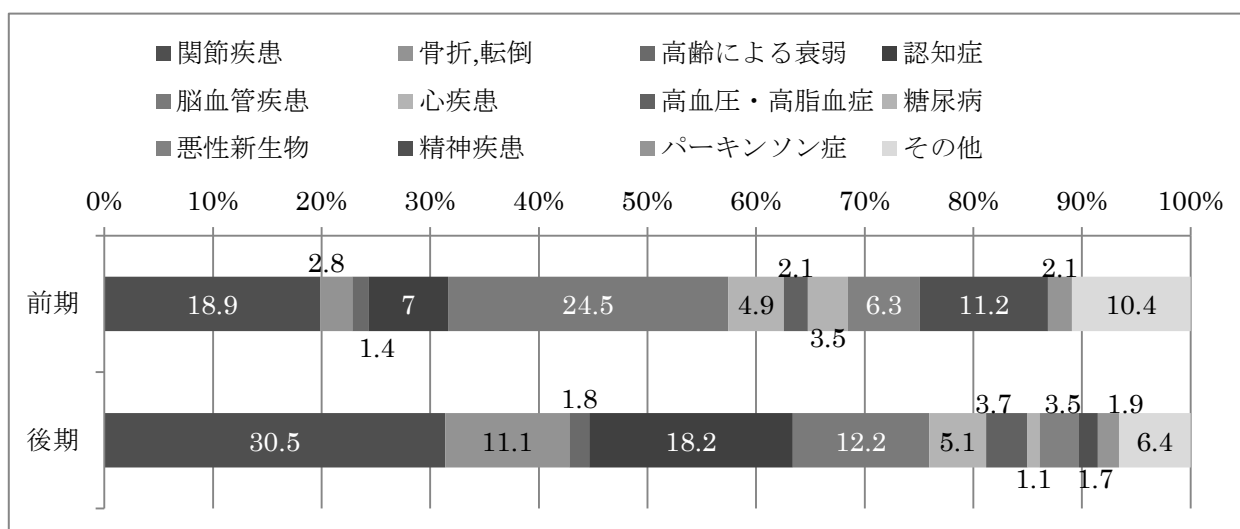
資料：介護福祉課より

(注) 軽度認定＝要支援1・2、要介護1

(注) 原因疾患は、介護認定における主治医意見書の「1」を原因疾患としている。

前期高齢者では脳血管疾患に次いで関節疾患が多く、後期高齢者では関節疾患に次いで認知症が多くなっています。

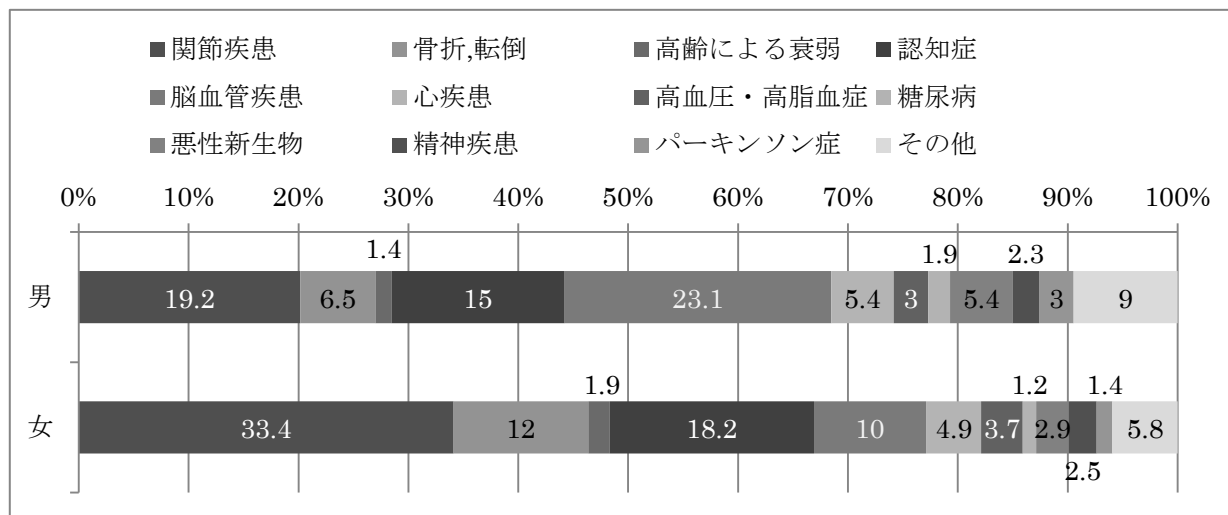
図表22 平成27年度 年齢別高齢者要介護認定原因疾患



資料：介護福祉課より

男性では脳血管疾患、関節疾患が多く、女性では、関節疾患、認知症が多くなっています。

図表 23 平成 26 年度 男女別高齢者要介護認定原因疾患



資料：介護福祉課より

④ 健康づくり活動

平成27年度は、71か所でいきいき百歳体操活動が行われています。

図表 24 地区別いきいき百歳体操活動状況（健康を支えるための地域づくりの拠点数）

町内会名 (単位町内会数)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内町(18)	1	1	8			1	11
外町(19)	1			2	2	2	7
物部(8)		2	1	1			4
上物部(3)	1	1	1				3
千草(8)		1			1		2
加茂(10)			1	1		2	4
大野(12)	2		1	1	1	1	6
鮎屋(2)			1				1
納(5)					1		1
潮(4)		2		1			3
中川原(7)		1	2	1			4
安乎(8)			2				2
由良(7)			1			1	2
上灘(4)							0
都志(8)		2	4	2			8
鮎原(15)	1	1		1	1	1	5
広石(5)			1			1	2
鳥飼(12)		1	1	1	1		4
塚(5)					2		2
計(160)	6	12	24	11	9	9	71

資料：介護福祉課より